



CTIを活用したサイバーセキュリティ監査サービス

外部から見える攻撃面と最新の脅威動向を監査に取り込み、
監査リソースを重要リスクに集中できるように支援します。

サイバー攻撃は、脆弱性の悪用、ランサムウェア感染、認証情報の窃取、サードパーティ経由の侵入など、さまざまな経路から発生します。さらに、インターネット公開資産やクラウドサービスの拡大、攻撃者の手法の高度化に伴い、企業を取り巻くサイバーリスクは絶えず変化しています。また、攻撃者は企業内部の情報ではなく、外部から観測できる情報をもとに標的を選定し、侵入経路を探索しています。

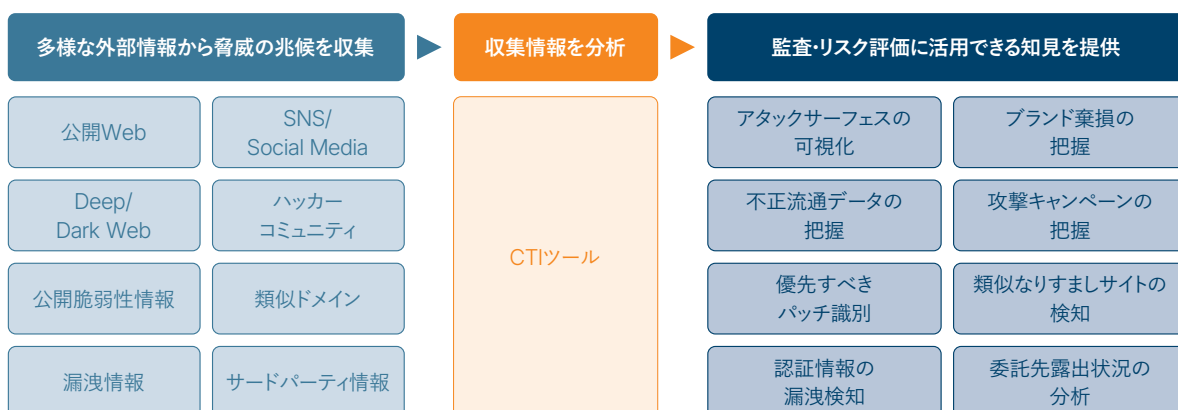
このような環境下では、定型的なチェックリストや管理態勢に關する監査だけでなく、外部から観測可能な脅威や攻撃対象領域（アタックサーフェス）を把握し、リスクの高い領域に重点を置いて監査を実施することが重要です。

サイバーセキュリティ対策の有効性を検証するためには、方針や統制の整備状況を確認するだけでなく、実際の外部露出状況や最新の脅威動向を踏まえ、監査対象や重点項目を柔軟に見直していく必要があります。

プロテビティでは、CTI（Cyber Threat Intelligence：サイバー脅威インテリジェンス）を予備調査に取り入れ、「攻撃者から見える自組織」の状況を可視化します。その結果をもとにリスク分析を行い、監査手続の具体化や重要コントロールの整備・運用状況の評価へとつなげることで、リスクベースのサイバーセキュリティ監査を実現します。

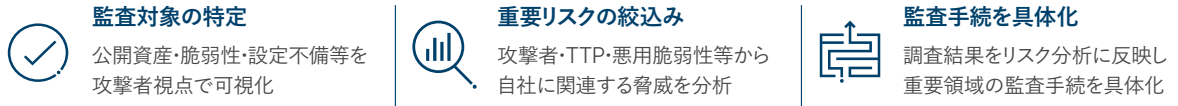
CTIツールで外部脅威情報を収集・分析し、曝されているリスク情報を提供

CTIツールは、公開WebやSNS、Deep/Dark Web、脆弱性情報など、さまざまな外部情報を収集・分析し、自社に関する脅威や脆弱性、なりすまし、情報漏えい、サードパーティリスクなどを可視化するツールです



CTIを活用したサイバーセキュリティ監査の特長

部脅威情報を起点に監査対象と重点リスクを絞り込み、監査手続を具体化することで、監査の効率性と実効性を高めます。



予備調査段階でCTIによる分析実施

CTIツールを活用し、広い範囲を効率的に調査。実査前に攻撃起点となり得るポイントを特定します。

CTIを単なる情報収集で終わらず、監査対象の選定、監査手続の具体化、重要コントロールの運用検証まで一貫して活用します。



CTIで把握する主な情報を監査手続に反映

CTIツールで把握した外部脅威情報をもとに重点リスクを特定し、監査対象・監査手続を具体化します。

CTI領域	把握する情報の例	監査での主な活用
アタックサーフェス管理	公開ドメイン・IP、脆弱性、証明書、セキュリティヘッダー、不要ポート、シャドーIT	資産管理、脆弱性・パッチ管理、セキュア構成、外部公開管理を重点検証
ブランド・なりすまし リスクの把握	類似ドメイン・SNS、なりすまし、漏えい認証情報、公開ソースコード・機密データ	ID管理・MFA、ブランド保護、DLP、インシデント対応、教育・訓練を検証
委託先・グループ会社の 脅威把握	委託先・グループ会社・協業先の外部露出、脆弱性、デジタルリスク	TPRM、接続管理、契約・セキュリティ要件、継続モニタリングを検証
攻撃者動向	脅威アクター、TTP、攻撃キャンペーン、攻撃予告、悪用脆弱性・攻撃ツール	攻撃シナリオ策定、パッチ優先度、検知・ログ、インシデント対応の実効性を検証

CTIを活用したサイバーセキュリティ監査の主な支援メニュー

CTIツールによる外部脅威情報の分析を活用した監査アプローチと組み合わせ、

お客様のサイバーセキュリティリスクや監査目的に応じて、管理態勢から個別システムまで幅広い監査を支援します。

サイバーリスク評価

管理態勢・システムを対象にセキュリティリスクアセスメントを実施し、監査計画やリスクに応じた監査手続作成を支援します。

サイバー管理態勢監査

ガバナンス・マネジメント領域を対象とし、NIST CSF等をベースにした管理態勢の検証を支援します。

個別システムのサイバー監査

システムに実装されているサイバーセキュリティ対策をCIS Controls等をベースにしたシステムの検証を支援します。

攻撃シナリオベース監査

MITRE ATT&CK等をベースに攻撃者による攻撃シナリオを策定し、侵入経路に対する対策状況の検証を支援します。

プロテビティについて

プロテビティは、クライアントがビジネスの革新や防護、また計画された事象や予期せぬ事象に対応できるように支援するグローバルコンサルティングファームです。25か国、90を超える拠点で、プロテビティとそのメンバーファームはクライアントに、テクノロジー、AI、データ、オペレーション、ファイナンス、法務、コンプライアンス、人材・組織、マーケティング、デジタル、リスク、内部監査の分野において、高い専門性とお客様ごとに的確なソリューションを提供しており、組織の変革の加速、リスクへの対応、最も重要な価値の保護を実現します。

プロテビティは、2015年以来、米国フォーチュン誌の働きがいのある会社ベスト100に継続して選出され、Fortune100の80%以上、Fortune500の約80%の企業にサービスを提供しています。また、成長著しい中小企業や、上場を目指している企業、政府機関等も支援しています。プロテビティは、Robert Half Inc. (NYSE: RHI)の100%子会社です。

プロテビティLLC

protiviti.jp

東京都千代田区大手町2-6-4 TOKYO TORCH 常盤橋タワー24F
大阪府大阪市北区梅田3-2-123 イノゲート大阪9F

Protiviti, Protivitiロゴは、Protiviti Inc.の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。その他の記載されている会社名・製品名は各社の登録商標です。
PJ2609



protiviti®